



日本画府・洋画部、この1年

塚田洋画部長誕生から1年、日本画府および洋画部の1年を振り返ります。

第63回日府展 東京展(2016.5.21~30)

水墨画部、写真部を加え6部門になりました。洋画部は57点の作品を展示しました。

観客動員数は前年比1,236名増の8,917名でした。

塚田洋画部長による市民講座「芸術脳の科学(1)(2)」が、5/22、5/28の2回にわたり都美術館講堂で開催されました。

5/22には130名、5/28には90名の受講者がありました。



市民講座「芸術脳の科学」

平成28年度洋画部総会(2016.5.22)

5/22 市民講座終了後、都美術館講堂で開催。洋画部会員・準会員計26名が参加しました。

洋画部の役員・組織・洋画部運営規則について提案され、承認されました。

第63回日府展 名古屋展(2016.6.8~12)

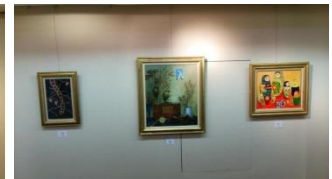
搬入、飾り付け、業務執行に協力しました。

秋季洋画部展準備の洋画部幹事会(2016.6.25)

秋季洋画部展に向けたミーティングが、がんこ会議室で開催され、9名が参加しました。役割分担、DM作成、案内状送付先名簿等が討議されました。

秋季洋画部展(2016.9.12~18)

ギャラリーくぼたの3F, 4Fを会場として、会員・準会員、元会員など40点が展示されました。



最終日終了後洋画部懇親会が魚や一丁で開催されました。

洋画部会・新年会(2017.1.22)

バイエルン・グリル渋谷において、PM4:00~5:00 部会、PM5:00~7:00 新年会が開催されました。洋画部会員22名が参加しました。部会において塚田洋画部長は、「昨年の日府展の入場者数も9000名近くに増加、経理的にも250万円の黒字が出そうであることなど、日本画府の経営は安定しており、64回展は東京都の後援ももらった。青龍社の伝統を引き継ぐ日府展に自信を持って参加・出品して欲しい。」と力強く挨拶しました。



洋画部作品研究会 (2017. 2. 12) (世話人：佐藤勝、齋藤、石井、大野)

日府会館において洋画部員 14 名が、制作中の作品、あるいは、作品の写真などをもって参加、互いに講評し合いました。



平成 29 年度 洋画部組織と業務担当

1. 洋画部からの本部役員

理事会・理事：塚田稔(事業部長)、小室禮子、佐藤勝昭(経理部長)、清水和子
理事会オブザーバ：石井泰代(洋画部会計)

監事：村上文紀

2. 第 64 回展審査員

洋画部審査員：塚田稔、小室禮子、佐藤勝昭、齋藤正博、松林節男

3. 洋画部業務担当

洋画部顧問	小室禮子	図録担当	服部尚彦
洋画部長	塚田稔	会計担当	石井泰代
総括総務	佐藤勝昭(部長代行)	部展担当	齋藤正博、大野雅生
事業担当	山本英雄	部内監査	小川明
研究担当	大野雅生		

4. 洋画部・幹事会メンバー：

塚田稔、佐藤勝昭、齋藤正博、山本英雄、大野雅生、服部尚彦、石井泰代、手島琴、小川明

会員の活躍

2016 年

9/6-9/11	GENBI 展	町田市立国際版画美術館、市民展示室	塚田理事他 2 名
10/21-25	第 8 回青鈴展	ギャラリー・永井	塚田理事他 3 名
10/31-11/6	宮澤賢一個展	ギャラリー・暁	宮澤賢一
10/31-11/6	第 25 回アトリエ彩展	ギャラリー・くぼた	藤原慶子、掛田典子
11/8-11/13	佐藤勝昭個展	アートギャラリー・884	佐藤勝昭
11/9-11/15	NHKチャリティー展	名古屋栄三越	塚田、佐藤
12/12-12/18	いまあじゅ展	ギャラリー・くぼた	塚田、吉田、仁尾、服部、山本、吉田、小川明、桂他

2017 年

3/6-3/12	アルテリッカ新百合美術展	新百合 21 ホール	佐藤、塚田
3/22-3/27	GENBI 小品展	町田市民ホール	塚田、伊藤
4/3-4/8	宮田益榮展	ドゥ<doux>画廊	宮田

29 年度主なスケジュール

名古屋展 6/21-6/25(6/20 12:00~搬入展示)6/21 12:30~名古屋展初日・祝賀会(中日パレス)

秋季洋画部展 9/4(月)~10(日) ギャラリーくぼた (初日オープニングパーティ)

秋季スケッチ研究会 10 末~11 初 幹事 松林

2 月洋画部・作品研究会：《期日未定》 齋藤、大野、塚田